

# うちとこのぎかい



めいわ議会だより



黄金に輝く稲穂

## CONTENTS



- P. 2 委員会レポート
- P. 5 一般質問
- P. 9 その後どうなった
- P. 10 キラッと輝く人たち

# 委員会レポート

## 総務産業常任委員会

8/22

### 主な内容 ● 分野を超えたシェアリングで民間提案型官民連携モデリング事業

- 建設課から、民間提案型官民連携モデリング事業について、明和町はインフラメンテナンスに関する包括的民間委託を拡大するため、NTTグループとオリエンタルコンサルタンツの共同提案が採択され、提案では道路舗装やカーブミラーなどの設計に加え、上水道や下水道のマンホール等を含め、AIで判断した内容を地図などに帳票化して管理し、道路占有者の民間施設と公共施設を一体で維持管理していくと報告がありました。
- 防災安全課から、防災訓練について、令和6年度は新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴い、中止や縮小が続いていた総合防災訓練を改めて充実をはかる必要があるとともに、地域防災の担い手を養成するため、多様な住民がより参加しやすく防災を身近に感じていただけるよう、特定の課題に特化した小規模かつ内容を絞り込んだ防災サバイバルアクション訓練を追加開催すると報告がありました。
- まちづくり戦略課から、近年人口の急激な減少と高齢化が進む中、持続可能な都市経営をはかるため、医療・福祉や商業施設といった生活に必要な施設を誘導する区域や、適正な人口密度を維持していくための居住を誘導する区域等を設定することで、緩やかな誘導をはかりながら持続可能なまちづくりを実現していく立地適正化計画に着手したと報告がありました。
- 農業委員会から、農業委員・農地利用最適化推進委員の改選について報告がありました。委員からは、農業離れが増えている現状のなか、今後の農業を考え、若い方や女性の方など偏りのない明和の実情に応じた改選をするよう要望しました。

## 教育厚生常任委員会

8/26

### 主な内容 ● 日本遺産の認定地域に引き続きなれるよう強く要望

- 斎宮跡・文化観光課から、令和6年度日本遺産の総括評価・継続審査結果について報告がありました。日本遺産の認定地域に継続して認められるかどうかの審査を今年5月に受け、その結果は再審査とのことでした。委員からは、再審査の理由と今後の対応について質問を行い、日本遺産について指摘を受けたのは、協議会のDMO化や民間活力を活かした運営の点などで、今後は組織の見直しをしていくとの答弁がありました。委員からは、継続して認定地域として認められるよう強く要望しました。
- 住民ほけん課から、三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議についてと明和町国民健康保険条例の一部変更に関する条例についての説明を受けました。国から示されたマイナンバーカードと健康保険証の一体化（マイナ保険証への移行）の方針に基づき、従来の健康保険証は令和6年12月2日に廃止され、新規発行が終了します。廃止の時点で発行済みの健康保険証は経過措置により廃止日から最長1年間は引き続き使用可能です。ただし廃止日から1年よりも前に有効期限が到来する場合は、その有効期限まで使用可能です。マイナ保険証を保有していない方には各保険者から「資格確認書」が交付されますので、引き続き安心して保険診療を受けていただけますとの説明も受けました。
- 教育課から、明和町いじめ防止基本方針の改定について、明和町のいじめの防止等の取組の中に、いじめへの対処として「一定の限度を超えて心身の苦痛を与える行為に関しては、被害児童生徒を守るため、いじめたとされる児童生徒に対して出席停止も含めた適切な対応をとる」を追記しましたと説明がありました。委員からは、基本方針に沿って今後しっかり責任をもって進めていただきたい。また、いじめた側、いじめられた側の心理や家庭状況を把握しながら、いじめに対する教育を進めてほしいと提言しました。

# 小学校建設等調査特別委員会

9/4

## 主な内容 ● 小学校建設の進捗状況について等

- 「第1期再編小学校等整備事業について」、「運営準備関係について」、「跡地利用について」の3点につき、説明・報告を受け各項目毎に質疑意見、要望を行いました。
- 整備事業については、工事は概ね順調に進んでおり9月末から躯体のコンクリート工事に入る予定、進捗状況は引き続き町のホームページ及びインスタグラムに掲載していく等の説明がありました。委員からは、これから冬場に向けて低温時のコンクリート打設など品質管理についての注意喚起、敷地北東部の交差点の冠水、渋滞等の安全対策について要望しました。
- 運営準備については、募集中の校歌のヒントとなるキーワード（募集は9月30日まで）、保護者を中心に協議を行っているスクールバスにつ

いて、バス停留所選定の協議状況について説明がありました。委員からは、校歌、スクールバスを含めた事業全般について、こどもの意見を聞き、明和北小学校に係る小学校のバランスについて配慮するよう要望しました。

- 跡地利用については、8月26日から開始した利活用事業者の公募（第1回）について説明がありました。委員からは、今回の公募について、併願などへの柔軟な対応、次回以降の公募について、庁内でのプロジェクトチームを結成しての検討や活用目的を絞った募集の提案、津波の緊急避難場所の指定等による制約条件など詳細情報の掲載など、事業者が応募しやすくなるような工夫を要望しました。

# 議会改革特別委員会

7/4

8/1

## 主な内容 ● 各部会の進捗状況について

- 7月4日、8月1日に議会改革特別委員会を開催し、各部会の進捗状況を確認しました。また、7月30日には山梨県町村議会議長会様27名が、明和町へ視察にみえました。令和5年3月に委員会を設置、令和6年2月に全国町村議会議長会より表彰をうけたこともあり「明和町の議会改革の取り組み」について、質疑応答を行いました。

### 【基本条例部会】

これまでに10回の条例部会を開催し、条文作成後、逐条解説及び用語解説を作成し、8月18日、16時から18時にて、法政大学の土山教授とオンライン研修会を行いました。土山教授からご指導いただいた点を、部会にて精査し、委員会に諮り、有識者にご意見を伺った後、パブリックコメントを実施します。

### 【ペーパーレス部会】

ペーパーレスに取組み、議会活動がスムーズに運営できるよう、Googleカレンダーにてスケジュール管理、LoGoチャットにて連絡事項書のオンライン化の運用にて、事務管理の簡素化、効率化が図れました。

2画面モニター、タブレット端末の活用もスムーズにできております。

さらに、業務の効率化と同時に、個々の議員活動に寄り添う、多様化を視野にいたしたペーパーレス化を進めていくよう検討します。

### 【定数部会】

これまでに5回の部会を開催し、議員定数・報酬に関する町民アンケートが完成しました。

町民2000名様を対象としたアンケートを12月に実施いたします。ご協力をお願いいたします。

令和6年第3回定例会は、9月3日から9月13日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は下記の通りです。なお決算特別委員会が9月10日から11日にわたり開かれました。

## 議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
議案第45号	三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	可決
議案第46号	いつきのみや歴史体験館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第47号	いつきのみや地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第48号	いつき茶屋の設置及び管理に関する条例の制定	可決
議案第49号	明和町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第50号	明和町道路線の認定について	可決
議案第51号	令和5年度明和町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第52号	令和5年度明和町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第53号	令和6年度明和町一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第54号	令和6年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第55号	令和6年度明和町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第56号	令和6年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第57号	令和6年度明和町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第58号	令和6年度明和町防災行政無線デジタル化整備工事 請負契約	可決
議案第59号	令和6年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算(第3号)	可決
認定第1号	令和5年度明和町一般会計歳入歳出決算認定	可決
認定第2号	令和5年度明和町斎宮跡保存事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第3号	令和5年度明和町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第4号	令和5年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第5号	令和5年度明和町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第6号	令和5年度明和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決
認定第7号	令和5年度明和町水道事業決算認定	可決
認定第8号	令和5年度明和町下水道事業決算認定	可決
報告第6号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率について	報告
報告第7号	令和5年度決算に基づく資金不足比率について	報告
発議第7号	小中学校の学校給食の無償化を求める意見書	可決
発議第8号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	可決
発議第9号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	可決
発議第10号	防災対策の充実を求める意見書	可決
発議第11号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	可決
発議第12号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可決

## 各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名	宇田	中井	田邊	新開	江	北岡	辻井	山本	瀬田	高橋	綿民	下井	松本	奥山
議案番号	雅行	啓悟	ひとみ	晶子	京子	泰	成人	章	萌	浩司	和子	清史	忍	幸洋
議案第53号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 奥山幸洋は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

# 一般質問

9月議会の一般質問は、9月3日・4日に行われました。

## Q 平和で安心に暮らせる町づくり

### A 多方向から安心に暮らせるまちづくりを推進



田邊ひとみ 議員

**質問** ①平和の運動や学習を広げるための平和予算の充実を求める。②生理休暇の実態と改善について問う。③PFASやダイオキシンに対する対策について問う。④大阪・関西万博への修学旅行や遠足に関する対応を問う。

**答え** ①既存予算を活用しながら取り組みを進め、地域の皆さんとも連携しながら進めていくことにより、平和に対する効果的な活動に結びつけていきたい。②生理休暇の制度はあるものの、取得状況としては令和4年度、5年度ともに取得日数は0日となっている。休暇を申請しやすい環境づくりのためには、職場全体で生理や生理休暇に対する理解を深めていく必要があると考えている。幅広く休暇制度を周知する取り組みを進めていきたい。③町内の水

源地4カ所の原水に関して、令和5年11月にPFOS・PFOAの検査を実施し、結果はいずれも測定器で検出できる下限値以下となっている。また、多気浄水場では年2回の検査を実施しているが、こちらも同様の結果となっている。ダイオキシンについては、町では河川に含まれるダイオキシン類が国の定める基準値を超えることがあるが、その原因物質は水田除草剤として使用された農薬、PCP製剤由来であることが調査で判明している。PCP製剤が使用されることがない今、農薬由来のダイオキシン類は年月とともに減少していくため、今後も調査を継続的に実施するとともに、新たな他のダイオキシン類が河川水に入り込むことを防ぐためにも周知、啓発に努めていく。④大阪・関西万博の開幕以降に下見ができると確認しているため、下見を行い安全性の確保に努める。下見を行った際に、安全性に問題があると学校が判断した場合や、今後の情報の中で安全性が確保できないと判断した場合は行き先を変更するなど、子どもたちの安全を第一に考え対応していく。

PFAS  
※PFASは人工的に作られた有機フッ素化合物の総称で、PFOSやPFOAは有機フッ素化合物の一種です。

## Q カスタマーハラスメント(カスハラ)対策の推進

### A 明和町版マニュアルの作成を進める



中井啓悟 議員

**質問** 今後に向けたカスタマーハラスメント対策における定義づけの実施は。マニュアル作成及び条例策定の方向性は。

**答え** 町においてカスハラの明確な定義はまだできていないが、カスハラを啓発を庁舎内に掲示しており、その中では「暴言」「時間拘束」「過度な要求」「土下座の要求」「不除去・居座り」などがカスハラに該当するとされている。また、厚生労働省が作成した「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を参考に、実態把握とカスハラの実態と判断基準、対策の必要性などを認識していくことが必要だと考えている。現時点では条例制定等の動きはないものの、基準を明確化し、対応方法を統一するためにも「明和町版マニュアル」の作成を進めている。

## Q 地域計画策定の見通し

### A 令和6年度末の策定に向け丁寧な説明を実施

**質問** 行政関係者だけが策定期限に意識がいきすぎ、農業者をはじめとする土地改良区、JAなどの関係者との連携・信頼構築が出来ていないのでは。

**答え** 町としては、丁寧な説明を心がけているが、新たな制度であり、近隣での先進事例も少なく、国・県にも相談をしながら試行錯誤し進めている状況。8月には各自治会に「地域計画策定の目的」「現時点での目標地図の区域設定(案)」の回覧をし、町民の皆様への周知に努めている。地域計画は令和7年3月末までに策定するが、策定後も、「地権者」も「担い手」もよりよい形で農地を維持管理出来るよう、随時、見直しを行い、徐々に作り上げていく計画であると考えている。引き続きのご理解とご協力をお願いしたい。

## Q 公立小学校の長寿命化計画について

A 齋宮小学校・明星小学校で令和8年度以降実施予定



北岡 泰 議員

**質 問** ①明星・齋宮小学校に対する長寿命化計画の具体案はあるか。②衛生管理基準に合致していない給食調理室の建替えを求める。③体育館へのエアコン整備推進は。④リース方式でのLED照明への交換策は考えているか。

**答 え** ①令和4年度に策定した計画案では、事業期間を3期に分けて工事を行うよう予定している。第1期工事で防水改修、外壁改修、建具改修、第2・3期工事で内装改修、照明器具のLED化、トイレの洋式化を校舎の半分ずつ行う計画としている。ただし、2校同時に行うことは財政的にも負担が大きいため、年度をずらして行うなど長期工事になることが予想される。②学校施設について、破損があった

場合や使用する中で改良が必要な場合に、補修や改修を実施してきた。給食室についても同様で、平成21年に衛生管理基準が示された後も同様の対応を実施しつつ、運用方法等を変えて対応してきた。長寿命化改修工事において給食室の改修も必要と考えている。③小学校の体育館については、災害発生時において地域の避難所としても利用されることからエアコンが整備されていることが望ましいと考えている。一方、古い体育館は断熱性能が確保されておらず、冷房効率が悪いことが課題となっている。断熱性を確保するための工事を行うのか、建て替えを検討するののかという選択も必要となってくる。年々暑さが増している状況からも、別途、暑さ対策を検討していく。④LED照明はリースという方向も含めて今後検討していく。

### 他の質問

女性防災担当職員および女性・子ども・高齢者の備蓄用品、災害時の「福祉的な支援」及び保健衛生環境の整備、「マイナ保険証」の普及と利用促進

## Q 明和町に対する関心度向上

A 第6次総合計画に基づいてまちづくりを推進



山本 章 議員

**質 問** ①第6次総合計画の進捗状況に関する町長の見解及び計画に密接に関わるDXについて。②自走する町を目指す上で財政、予算、少子高齢化という観点から町の考え及び競争が激化するふるさと納税の企画検討について。③コミュニティ・スクールと小中一貫教育の導入に関する課題の抽出及び課題への対応について。

**答 え** ①進捗状況については、毎年度の総合計画の施策評価書として、評価と報告を行い、施策の見直しや改善を図っている。DXについては、町民がより便利で迅速に行政サービスを利用できるよう、自治体のDXを積極的に進め、また、働き方や学び方の変革にも対応

し、地域全体のDXを後押しできるよう努めていく。②限られた予算の中で、高齢者や子どもたち子育て世代を支援していくためには、町の実績やニーズを的確に把握し、それに基づいた施策を講じることが重要。特に、子育て支援については「子ども・子育てに関する調査」を実施し、支援がより必要な部分を把握し、効果的な取り組みを行っていききたい。また、ふるさと納税については、従来のふるさと納税サイト以外の利用に向け関係各所と調整を行い、サイトオープンに向けて準備を進めている。新たな返礼品の企画についても、町内の事業所等と連携し、地元産品を活かした独自の返礼品の種類を増やすなど他自治体との差別化を図り、財源確保に取り組む。③コミュニティ・スクールと小中一貫教育については、カリキュラムや合同の教育活動について、学力調査やアンケート等の結果から毎年課題を見出し、各担当者会にて協議し、内容の見直しを図っている。今年度より試行実施し改善を図りながら進めている。

**Q** 高塚1号墳の保存・維持管理を問う

**A** 町指定文化財に向けて取り組む



宇田雅行 議員

**質 問** ①高塚1号墳の文化的な価値、保存、維持管理、整備の方針についての考えは。  
②指定に向けた具体的な計画や取り組みは。

**答 え** ①高塚1号墳は、全長72mの帆立式古墳で特徴的な形をしており、櫛田川以南では県下最大規模で、採集されている埴輪などの資料からは、おおむね5世紀中頃に築造されたと推定できるものである。文化的価値については、令和4年度に設置した明和町文化財保護審議会の高塚1号墳に関する専門調査会において、保存状態も極めて良好で、当該古墳の存在は、明和町周辺での古墳文化の広がりを考えると極めて重要であり、町指定文化財とすることは妥当との意見をいただいている。町として

も当該古墳の保存について、町の古墳時代を語る上で重要かつ代表的な存在の古墳と捉え、町指定文化財として指定し、後世への継承を確実に図っていくことで保存をしていきたいと考える。また、現在は民地に存在する未指定の文化財ということもあり、明和町郷土文化を守る会や地元の方々を中心に維持管理や保存活動をしていただいている状況であるが、町指定文化財となることで、町と明和町郷土文化を守る会や地元の方々とも連携して草刈りや啓発など実施し、整備としては極力手を加えず、里山の豊かな自然の中でゆっくり古墳を観察してもらえ環境を維持していきたい。②令和3年度、4年度にレーザー測量、ドローンでの上空撮影、専門調査会の設置、令和5年度に説明看板の設置をするとともに「さいくうあと通信」を発行し、古墳の文化的な魅力をわかりやすく周知しながら周辺の環境整備等を進めている。町指定文化財にするにはすべての土地所有者の方から同意書をいただく必要があるため、地権者様を個別に訪問し、指定に向けてご協力いただけるよう丁寧な説明を行っている。

**Q** “こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増すため”に

**A** 地域を育て人を育てる



瀬田 萌 議員

**質 問** ①「子ども・子育てに関する調査」の実施結果と今後の取組への反映は。②「部活動地域移行」の現状と今後の取組は。③「自治会等活動奨励金制度」の現状と「指定地域共同活動団体」の展開の方針は。

**答 え** ①令和6年6月に就学前児童と小学校児童の保護者を対象にアンケート調査を行った。調査結果の分析を行い、子育て支援に関するニーズを把握し、子ども・子育て会議を開催する中で、「第3期明和町子ども・子育て支援事業計画」を作成していく。②部活動の地域連携・地域移行を進めるため、中学校・スポーツ協会・スポーツ少年団等の関係者で協議を行い、令和6年2月に「明和町部活動検討委員会」

を立ち上げ検討を進めている。今年度は、部活動の部員や顧問・外部指導等の状況把握、外部指導員候補者リストの作成、「明和中学校部活動地域連携・地域移行の取り組み方針」の策定等に取り組んでいる。そして、地域連携としてすでに行っている部活動指導員の配置を継続・強化しつつ、並行して地域移行のための組織づくり、人材確保等を進めるよう検討していく。③当制度は、地域の自治会等が主体となり、防災防犯活動、福祉活動、環境美化活動の3つの活動のうち、それぞれの分野で最大2回、全体として3回の活動に対して奨励金1回につき10,000円を支払うものであり、令和5年度は自治会等58団体から申請いただいた。自治会活動の活性化を図るためにも制度の周知に努めていきたい。「指定地域共同活動団体」は地域の多様な主体の連携及び協働を推進するための制度であり、自治体との協働により、住民の福祉の増進を効果的に図ることができるとされている。明和町で活用できる制度かどうか見極め、制度導入について検討していく。

## Q 安全で安心できるまちづくりについて

### A 運用しながら改正を検討する



松本 忍 議員

**質問** ①近年、消防団員のなり手不足が深刻化する中、明和町も同様である。分団の統廃合を行い、手引き隊を無くし軽トラック隊をつくったらどうか。②町民バスの利用は年々減ってきている、見直しが必要ではないか。また、その中でデマンド型の町のチョイソコめいひめ・民間のmobiの考え方はどうするのか。③県により来年度から大仏山運動公園の大規模な改修計画が予定されているが、それに併せ明和町側からの園路の視距改良と2車線化の工事を要望していただきたい。また、同時に進入路の町道明星42号線の改良も必要ではないか。

**答え** ①消防団の分団については、地域の状況も大きく変わり、それぞれ課題もあると考えている。消防団の分団構成については、条

例で決められていることから、第2分団の再編に合わせ、他の分団の状況も踏まえた上で、全体的に適正な分団構成となるように検討する。②ご指摘のとおり町民バスの利用は減少しており、今後、令和8年度の明和北小学校の開校に伴うスクールバスの導入に合わせて路線の見直しとダイヤ改正を行うとともに、デマンド型交通の拡充を検討していく。mobiについては、町の公共交通の役割の一端を担っていただいているが、今後も民間の創意工夫により、経営をしていただきたいと考えている。③安全対策は三重県が検討し実施を行う。明和町は大仏山公園整備の会議で安全対策を求めてく。しかし、対策方法は三重県で検討し、単車線の場合2年後に道路交通法が改正され、30km制限が自動的に適用されることを見据えて実施される。明星42号線の整備については、財政的な課題など、全体的に考慮しながら進めていく。

#### 他の質問

明和中央線の今後についてほか

## Q 自然災害に対しての明和町の防災・減災対策推進の在り方について問う

### A 防災・減災の取り組みについて、住民及び町職員の意識向上を図る



辻井成人 議員

**質問** 南海トラフ地震等から発生するであろう災害の問題点と町の第6次総合計画、並びに津波避難タワー、下水道管の機能整備（回復）について町の基本的な考え方を問う。

**答え** 問題点のひとつとして防災行政無線の設備更新の課題があるが、今後、デジタル化整備事業により更新を進めていく。第6次総合計画における防災・減災対策の推進として、木造住宅耐震補強工事補助件数、ブロック塀除去改修補助件数、自主防災組織の組織率が目標に対する状況を示す指標（KPI）として掲げられているが、進捗が遅れている事業もあ

り、今後、目標値に近づけるように取り組む。津波避難タワーは国の補助金を活用して整備してきた。補助金の制度などから、緊急避難施設以外の目的に活用できる構造とすることが困難であったこともあり、現在の形になっている。今後も引き続き、避難後の安全性確保が重要であることを前提として、補助金や建築基準上の制約、町の財政状況にも鑑み、避難施設全体の充実を検討していきたい。下水道管の機能については、町の土地の状況から地震の揺れと液状化が下水道の管渠に大きく影響すると考えている。公共下水道、農業集落排水の上御糸、下御糸地区では新しい基準に基づいて設計されているので、震災後も施設の機能は概ね維持されると考えている。下御糸北処理区は建設当時の基準によるために他の区域に比べて被害は多少であると認識している。

#### 他の質問

風雨災害時の避難経路について、町の防災拠点の在り方、考え方について



# その後どうなった？

シリーズ  
第102回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

Q

一般質問の主な内容

こうなった

現在の取組状況や結果など

A

Qに対する答弁の内容

## 令和5年 9月定例会より

Q

町職員における①ハラスメント事象②有給休暇の取得状況③時間外勤務の偏りと時間数、以上3点の実態と改善策は。(中井啓悟議員)

A

①相談やその手前の状況がある②令和4年実績で本庁職員128人中44人が有給取得5日未満③時間外60時間超の職員が一部に偏る、よって機構の見直しや職員配置を検討していく。

こうなった

年次有給休暇の年5日以上取得を推進。4月の機構改革で防災安全課を設置するなど防災体制強化と時間外の偏りの是正を進めた。

Q

带状疱疹ワクチンの早期助成を求める。(北岡泰議員)

A

带状疱疹ワクチン接種費用の助成については、国の動向や近隣市町の状況も勘案しながら検討する。

こうなった

令和6年10月1日以降接種分から、50歳以上の方を対象に、带状疱疹ワクチンの任意接種費用の一部助成を開始する。

Q

J A 多気郡斎宮支店跡地の利活用について今後の方向性を問う。(宇田雅行議員)

A

街道側の土地は、観光に利用できるよう民間と連携した取り組みを検討し、学校側の土地は多気東部土地開発公社の所有となっており、史跡保全のため公有化する。2つの土地が相互に活用していけるよう公募していきたい。

こうなった

J A 多気郡斎宮支店跡地活用の公募を令和5年3月に実施するも応募がなかったため、活用の見直しを実施するとともに、地元からの声が多い駐車場としての一時的活用も視野に入れ検討している。

Q

地方自治体が中小企業支援を行う目的と支援策について問う。(田邊ひとみ議員)

A

地域の雇用創出に大きく貢献し、地域経済の発展に繋がることに期待。支援策は多岐に渡るため分野別に相談・検討・紹介していく。

こうなった

事業者に対し、利子補給や保証料補給などの支援事業や、先端設備導入に対する税制優遇制度等の紹介を行い、支援制度を活用いただいた。

Q

移住・定住者につながる町の情報発信の考えと今後の方向性について。(山本章議員)

A

届けたいターゲットに確実に届く方法を検討するとともに、SNSマーケティングの導入など、より戦略的な情報発信を行う。

こうなった

町政や観光などの情報発信と連携し、新たなツールでの情報発信、内容の充実、ハッシュタグによるターゲットの獲得など魅力ある情報発信を工夫しながら取り組んでいる。

Q

「町民バス」の利用者数・事業費の推移と校区外通学等活用の可能性は。(瀬田萌議員)

A

利用者数はピークの半数近くまで減少し、事業費は複数の要因で増加し続けている。アンケート等を総合的に勘案して路線・ダイヤの見直しを行う。

こうなった

明和町地域公共交通計画を策定した。計画に基づいて、路線・ダイヤの見直しなど、公共交通サービスの維持・向上に努めていく。

Q

明星幹線排水路下流部は多くの土砂が堆積しているため早急に撤去工事を行うべきではないか。(松本忍議員)

A

明星幹線排水路の下流部については、土砂が堆積し雑草が繁茂している。撤去については、明和土地改良区と協議中である。

こうなった

令和5年度より明星幹線排水路最下流部の堆積土砂浚渫工事に着手し、引き続き令和6年度も実施の予定。大堀川は三重県に浚渫要望を行い、調査が実施された。

# キラッと輝く人たち

\*\*\*\*\*

## 「津波の恐怖を乗り越える自信へ」

津波から大淀を守る会「みちしるべ」

今年で10年目を迎える「みちしるべ」は、過去に数度、大淀を襲った津波にも負けずに住み続けてきた先人達に負けないよう、昔からの言い伝えや現代の知識を学び、浜辺の町「大淀」を未来に繋げるために集まったグループです。

今もなお、日本全国を襲っている地震ですが、何も学ばずに過ごせば、ただの恐怖でしかありません。色々な知識を持つことにより、津波への対処が分かってきて、みんなで知恵を出し合い、助け合うことで自信がでます。その知識と自信をできるだけ多くの



想定外を想定内に！

人たちと共有し、「その時」が来ても津波を乗り越えられる町にしていきたいと思っています。

何もしなくても地震はいつかやってきます。待っているだけではなく、防災についてみんなで話し合しましょう！

## 編集委員より

秋が深まり、紅葉が美しく彩る季節となりました。朝夕の気温差が大きく、体調管理が難しい日が続いておりますが、皆様におかれましては、適切な栄養摂取と運動を心がけ、冬に向けての健康管理に努めていただければ幸いです。

7月から9月にかけて各地区で開催いたしました議会懇談会では、町民の皆様から貴重なご意見を多数頂戴し、心より感謝申し上げます。

9月定例会では、決算特別委員会において町の財政状況について活発な議論が交わされました。今後も皆様のお声を真摯に受け止め、町政に反映すべく全力を尽くしてまいります。

現委員会での「うちとこのぎかい」の発行は、今回で最後になります。次回号は、新体制でスタートしますので引き続きご愛読よろしくお願いたします。



多年にわたり地方自治の発展に貢献した功績で、  
三重県町村議会議長会から自治功労者表彰を受けました。  
奥山幸洋議員・松本忍議員・綿民和子議員・江京子議員（13年以上）

### 議会だより編集特別委員会

委員長：田邊 ひとみ 副委員長：宇田 雅行  
委員：新開 晶子、山本章、瀬田 萌、高橋 浩司、綿民 和子、下井 清史

令和6年 第4回定例会  
12月9日（月）午前9時から

■一般質問は9日・10日を予定しています。  
（変更の場合あり）

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。